

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	高知県立大学
設置者名	高知県公立大学法人

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
文化学部	文化学科	夜・通信	6		12	18	13	
	文化学科	夜・通信			12	18	13	
看護学部	看護学科	夜・通信			129	135	13	
社会福祉学部	社会福祉学科	夜・通信			76	82	13	
健康栄養学部	健康栄養学科	夜・通信			18	24	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

公表方法：高知県立大学 HP 上に掲載 https://www.u-kochi.ac.jp/site/daigaku-annai/syuugakusienn.html
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	高知県立大学
設置者名	高知県公立大学法人

1. 理事（役員）名簿の公表方法

高知県公立大学法人 HP 上に掲載 https://www.kppuc.ac.jp/about/officer.html
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	高知商工会議所 会頭	令和7年4 月～令和9 年3月	産業分野の有識者
非常勤	長崎大学大学院 熱帯医学・グローバルヘル ス研究科 教授 プラネタリーヘルス学 環 教授	令和7年4 月～令和9 年3月	学術分野の有識者
非常勤	東京大学名誉教授	令和7年4 月～令和9 年3月	学術分野の有識者
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	高知県立大学
設置者名	高知県公立大学法人

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>																															
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業担当教員により、授業の概要、達成目標、授業計画、成績評価(基準と方法)、教科書、参考書等を記入したシラバスを作成している。 開講年度の前年度 2 月ごろに作成をはじめ、在学生は学内システムからシラバスを閲覧しながら履修登録できるようにしている。 また、在学生以外でも外部からの閲覧が可能となるように大学 HP 上にシラバスを公開している。</p>																															
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>https://uok-cp.u-kochi.ac.jp/cpsmart/public/dashboard/main/ja/Simple/1900/3000120/wsl/SyllabusKensaku (高知県立大学 HP 内のシラバスにて公表)</p>																														
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>																															
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学修成果の評価については、学修評価規程に基づき、出席回数、成績表記、単位修得の認定等を定めて厳格かつ適正に実施している。 また、授業科目の履修については、履修規程に基づき、履修方法、授業計画、履修登録上限数を定めて厳格かつ適正に実施している。</p>																															
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>																															
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価は学修評価規程及び高知県立大学におけるグレードポイントアベレージに関する規程に基づき、以下の基準に基づいた GPA による指標を設定している。 (成績標記、GPA、評価基準)</p>																															
<table border="0"> <tr> <td>A+</td><td>4.0</td><td>90 点以上</td><td>A</td><td>3.7</td><td>85 点以上 90 点未満</td> </tr> <tr> <td>A-</td><td>3.3</td><td>80 点以上 85 点未満</td><td>B+</td><td>3.0</td><td>77 点以上 80 点未満</td> </tr> <tr> <td>B</td><td>2.7</td><td>73 点以上 77 点未満</td><td>B-</td><td>2.3</td><td>70 点以上 73 点未満</td> </tr> <tr> <td>C</td><td>1.7</td><td>65 点以上 70 点未満</td><td>D</td><td>1.0</td><td>60 点以上 65 点未満</td> </tr> <tr> <td>E</td><td>0.0</td><td>60 点未満</td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>		A+	4.0	90 点以上	A	3.7	85 点以上 90 点未満	A-	3.3	80 点以上 85 点未満	B+	3.0	77 点以上 80 点未満	B	2.7	73 点以上 77 点未満	B-	2.3	70 点以上 73 点未満	C	1.7	65 点以上 70 点未満	D	1.0	60 点以上 65 点未満	E	0.0	60 点未満			
A+	4.0	90 点以上	A	3.7	85 点以上 90 点未満																										
A-	3.3	80 点以上 85 点未満	B+	3.0	77 点以上 80 点未満																										
B	2.7	73 点以上 77 点未満	B-	2.3	70 点以上 73 点未満																										
C	1.7	65 点以上 70 点未満	D	1.0	60 点以上 65 点未満																										
E	0.0	60 点未満																													
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>高知県立大学学修評価規程(規程集) https://www.kppuc.ac.jp/regulations/rule/116.html</p>																														

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学士課程におけるディプロマ・ポリシーを学部ごとに策定しており、大学 HP 上に掲載し公表している。</p> <p>また、卒業要件については学則第 34 条に明記し、大学 HP、学生便覧に掲載している。</p> <p>卒業判定については学則第 35 条に明記し、大学 HP、学生便覧に掲載している。判定方法は、教授会の議を経て原則として学年の終わりに学長が判定を行っている。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>高知県立大学 HP https://www.u-kochi.ac.jp/soshiki/0/apcpdp.html 高知県立大学学則 https://www.kppuc.ac.jp/regulations/rule/66.html</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	高知県立大学
設置者名	高知県公立大学法人

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	高知県公立大学法人 HP 上に掲載 https://www.kppuc.ac.jp/information/finance.html
収支計算書又は損益計算書	高知県公立大学法人 HP 上に掲載 https://www.kppuc.ac.jp/information/finance.html
財産目録	
事業報告書	高知県公立大学法人 HP 上に掲載 https://www.kppuc.ac.jp/information/finance.html
監事による監査報告(書)	高知県公立大学法人 HP 上に掲載 https://www.kppuc.ac.jp/information/finance.html

2. 事業計画 (任意記載事項)

単年度計画 (名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画 (名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 高知県立大学 HP 上に掲載 https://www.u-kochi.ac.jp/site/daigaku-annai/intro-ninsyo.html

(2) 認証評価の結果 (任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 文化学部、看護学部、社会福祉学部、健康栄養学部
教育研究上の目的（公表方法：高知県立大学 HP に掲載） https://www.kppuc.ac.jp/regulations/rule/759.html
（概要） 文化学部）人文・社会系諸科学による多角的な文化研究により人間・社会に対する理解を深め、文化の批判的継承を通して豊かな人間性と主体的に行動し得る能力を培い、地域文化の創造と向上に資するとともに、真に豊かな共生社会の実現に向けて国際的に貢献できる人材を養成する。 看護学部）看護の理念や専門的知識・技術、ヒューマニズムを礎として、将来に向かって拓かれた看護を構築し、健康問題を人々と共に解決し、人々の健康生活の創造に貢献ができる豊かな人間性・創造性を持った人材を養成する。 社会福祉学部）福祉の現代的課題に対応する、深い人間理解や人権尊重の精神に裏打ちされた専門的知識と実践的知識と実践的技能を教授研究することにより、共感する心と豊かな人間性をもって、社会生活で生じるさまざまな問題に主体的に対応できる福祉的実践能力を修得させ、社会の幅広い分野で福祉の向上に寄与できる有為な人材を育成する。 健康栄養学部）人間や健康、環境の本質を理解しながら、生命の基源である「食」を探究し、人々が健康に生活できるよう幅広い分野で貢献できる人材を養成する。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：高知県立大学 HP に掲載） https://www.u-kochi.ac.jp/soshiki/0/apcpdp.html
（概要） 文化学部）人文・社会系諸科学の知識を身につけ、多様な社会や文化を理解し、豊かな共生社会の実現、新たな文化の創造及び自律した自己の成長を追求することを目指し、当該学部で定めた各項目における能力を身につけた者に学士の学位を授与する。 看護学部）豊かな人間性と社会の課題に取り組む態度を身につけ、看護の理念や専門的知識・技術、ヒューマニズムを礎として、将来に向かって拓かれた看護を構築し、健康問題を人々と共に解決し、人々の健康生活の創造に貢献ができる豊かな人間性・創造性を獲得することを目指し、当該学部で定めた各項目における能力を身に着けた者に学士の学位を授与する。 社会福祉学部）共生社会を志向する市民としての素養を基礎に、社会福祉専門職として必要な価値・知識・技術を獲得することを目指し、当該学部で定めた各項目における能力を身につけた者に学士の学位を授与する。 健康栄養学部）豊かな教養と社会の諸問題に取り組む態度を身につけ、人間や健康の本質を理解しながら、生命の源である「食」を探究し、人々が健康に生活できるよう貢献できることを目指し、当該学部で定めた各項目における能力を身につけた者に学士の学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：高知県立大学 HP に掲載） https://www.u-kochi.ac.jp/soshiki/0/apcpdp.html

(概要)

共通教養教育科目)

共生社会の市民の素養を身につけるため、コミュニケーションスキル(リテラシー科目)、諸科学の基本的な知識(教養基礎科目)、地域社会や国際社会の課題(課題別教養科目)、生涯にわたる健康の維持・増進のための知識・技能(健康スポーツ科目)、地域課題への実践的取り組み(域学共生科目)を学ぶ科目群を設置する。

文化学部)

「共通教養教育科目」と「専門教育科目」(学部共通科目と学部専門科目)を置く。

専門教育科目では学生が能動的に学習するよう多様な教育方法を取り入れる。学部共通科目の基礎演習、各領域の専門演習及び課題研究ゼミナールは、少人数による演習形式で行い、課題研究ゼミナールでは学部教育の集大成として卒業研究を仕上げる。

看護学部)

「共通教養教育科目」と「専門教育科目」(「専門基礎科目」「看護基礎科目」「看護臨床科目」「総合科目」)を置く。

専門教育科目は、看護を展開する上で必要となる専門的知識、技術、科学的思考、問題解決能力、国際性・学際性を修得する。『看護学部のカリキュラム構成図』『看護学部履修モデル』を提示し、履修指導を行う。

事前課題、事後課題、グループワーク、グループ討議、アクティブラーニング、シミュレーション教育、少人数教育等多様な教育方法を用い、学生が主体的に学ぶ方法を取り入れる。

社会福祉学部)

「共通教養教育科目」と「専門教育科目」(基礎、応用、発展段階)を置く。

各科目については、事前・事後課題、グループ討議、リアクションペーパーなどを取り入れ、アクティブラーニングを重視した教育方法により展開する。特に応用段階及び発展段階の各科目では、少人数での演習・実習形式を積極的に取り入れる。

健康栄養学部)

「共通教養教育科目」と「専門教育科目」(「基礎科目」「専門基礎分野」「専門分野」)を置く。

「健康栄養学部カリキュラム構成図・履修モデル」「健康栄養学部履修モデル(栄養教諭)」を提示し、履修指導を行う。「実験・実習」科目以外の基礎科目、専門基礎分野、専門分野の科目は、事前・事後課題を与える他、グループワークや演習等により、学生が主体的に学ぶ方法を取り入れる。

入学者の受入れに関する方針(公表方法:高知県立大学 HP に掲載)

<https://www.u-kochi.ac.jp/soshiki/0/apcpdp.html>

(概要)

文化学部)

人文・社会系諸科学による多角的な文化研究により人間・社会に対する理解を深め、文化の批判的継承を通して豊かな人間性と主体的に行動し得る能力を培い、地域文化の創造と向上に資するとともに、真に豊かな共生社会の実現に向けて国際的に貢献できる市民を養成します。したがって、文化学部では、次のような人を求めています。

1. 人文・社会系諸科学を理解する上で必要な基礎的素養、すなわち高等学校等で履修する主要な教科に関する十分な基礎学力を有している人〔知識・理解〕

2. 高等学校等で履修した幅広い基礎的素養を基に、物事を論理的に思考・判断し、これを言語によって適切に表現する能力を備えている人〔思考力・判断力・表現力〕
3. 人間・社会に広く関心を持ち、言語、地域、観光、法学などの視点から人文・社会系諸科学の専門的知識を身につけたいと考えている人〔関心・意欲・態度〕
4. 人間に対する理解を深め、実践的なコミュニケーション能力を体得し、現代社会の諸課題を主体的に発見・分析・解決するために必要な学習に意欲のある人〔関心・意欲・態度〕
5. 将来、地域社会・国際社会の幅広い分野で豊かな共生社会の実現に向けて活動したいと考えている人〔関心・意欲・態度〕

看護学部)

豊かな人間性と社会の課題に取り組む態度を身につけ、看護の理念や専門的知識・技術、ヒューマニズムを礎として、将来に向かって拓かれた看護を構築し、健康問題を人々と共に解決し、人々の健康生活の創造に貢献ができる豊かな人間性・創造性を獲得することを目指しています。したがって、看護学部では、次のような人を求めています。

1. 幅広い文系・理系の基礎的学力をもつ人〔知識・教養〕
2. 人間、生活、社会を深く理解する力をもつ人〔思考力・判断力〕
3. ものごとを論理的に考える力をもつ人〔思考力・判断力〕
4. 生涯にわたって学び続ける力をもつ人〔関心・意欲〕
5. 自分で課題を発見し、計画を立て積極的に取り組む力をもつ人〔主体性〕
6. 他者を尊重し、協働してものごとに取り組む力をもつ人〔実行力・協働性〕

社会福祉学部) 福祉の現代的課題に対応する、深い人間理解や人権尊重の精神に裏打ちされた専門的知識と実践的知識と実践的技能を教授研究することにより、共感する心と豊かな人間性をもって、社会生活で生じるさまざまな問題に主体的に対応できる福祉的実践能力を修得させ、社会の幅広い分野で福祉の向上に寄与できる有為な人材を養成します。したがって、社会福祉学部では、次のような人を求めています。

1. 高等学校等で学ぶ基本的な科目の学力を有する人〔知識・教養〕
2. 人に対して関心を持ち、協調性を大切にして柔軟に行動できる人〔理解力・洞察力・表現力〕
3. 自ら行動することによって、課題の発見や分析を行うことができる人〔理解力・洞察力・表現力〕
4. 地域や家族の福祉課題に関心を持ち、その解決方法を学びたい人〔熱意・意欲〕
5. 他者と協働して、人々の生活を支え、よりよい地域社会を創造したい人〔熱意・意欲・協働性〕

健康栄養学部) 人間や健康の本質を理解しながら、生命の源である「食」を探究し、人々が健康に生活できるよう貢献できる栄養や食生活の専門家を養成することを目的としています。したがって、健康栄養学部では、次のような人を求めています。

1. 地域社会や人間、健康そして「食」に対して興味・関心を持ち、さらにこれらを探求する意欲のある人〔関心・意欲〕
2. 物事に主体的かつ積極的に取り組む姿勢をもつ人〔主体性〕
3. 健康栄養学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき理系科目も含めた基礎的な知識・教養を身につけた人〔知識・教養〕
4. 幅広い視野と柔軟な感性を有し、今までの知識・教養をもとに論理的な思考によって適切に判断できる人〔思考力・判断力〕
5. 社会の一員であることを自覚し、他人の立場にたって考えることができ、コミュニケーション能力がある人〔表現力・協働性〕

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：高知県立大学 HP 上に掲載

<https://www.u-kochi.ac.jp/site/daigaku-annai/intro-org.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
文化学部	—	12人	5人	4人	0人	0人	21人
看護学部	—	16人	8人	2人	24人	0人	50人
社会福祉学部	—	5人	6人	5人	6人	0人	22人
健康栄養学部	—	3人	4人	3人	4人	1人	15人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
—人				99人			99人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：高知県立大学 HP 上に掲載 https://www.u-kochi.ac.jp/soshiki/25/prof-teacher.html					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
文化学部	150人	154人	102.7%	616人	650人	105.5%	8人	7人
看護学部	80人	81人	101.3%	320人	330人	103.1%	人	人
社会福祉学部	70人	78人	111.4%	280人	300人	107.1%	人	人
健康栄養学部	40人	45人	112.5%	160人	169人	105.6%	人	人
合計	340人	358人	105.3%	1376人	1449人	105.3%	人	人
(備考)								

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
文化学部	134人 (100%)	0人 (0%)	111人 (82.8%)	23人 (17.2%)
看護学部	82人 (100%)	3人 (3.7%)	79人 (96.3%)	0人 (0%)
社会福祉学部	71人 (100%)	0人 (0%)	65人 (91.5%)	6人 (8.5%)
健康栄養学部	42人 (100%)	1人 (2.4%)	41人 (97.6%)	0人 (0%)

合計	329人 (100%)	4人 (1.2%)	296人 (90.0%)	29人 (8.8%)	
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)					
(備考)					
c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 授業担当教員により、授業の概要、達成目標、授業計画、成績評価(基準と方法)、教科書、参考書等を記入したシラバスを作成している。 開講年度の前年度2月ごろに作成をはじめ、在學生は学内システムからシラバスを閲覧しながら履修登録できるようにしている。 また、在學生以外でも外部からの閲覧が可能となるように大学HP上にシラバスを公開している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 学修成果の評価については、学修評価規程に基づき、出席回数、成績表記、単位修得の認定等を定めて厳格かつ適正に実施している。 また、授業科目の履修については、履修規程に基づき、履修方法、授業計画、履修登録上限数を定めて厳格かつ適正に実施している。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
文化学部	文化学科(昼)	124単位	有	1学期間24単位
看護学部	看護学科	128単位	有	1学期間24単位
社会福祉学部	社会福祉学科	124単位	有	1学期間24単位
健康栄養学部	健康栄養学科	124単位	有	1学期間24単位
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：高知県立大学 HP 上に掲載

<https://www.u-kochi.ac.jp/life/1/1/3/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
文化学部	文化学科 (昼)	535,800円	県内生) 141,000円 県外生) 282,000円	学生自治会費 20,000円	
	文化学科 (夜)	267,900円	県内生) 70,500円 県外生) 141,800円	学生自治会費 20,000円	
看護学部	看護学 科	535,800円	県内生) 141,000円 県外生) 282,000円	学生自治会費 20,000円	
社会福祉 学部	社会福 祉学科	535,800円	県内生) 141,000円 県外生) 282,000円	学生自治会費 20,000円	
健康栄養 学部	健康栄 養学科	535,800円	県内生) 141,000円 県外生) 282,000円	学生自治会費 20,000円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 高等教育の修学支援新制度に基づく授業料等減免とは別に、大学独自の授業料免除制度を設けている。 https://www.u-kochi.ac.jp/site/scholarships/menjo-mext.html また、障がい学生の修学機会の確保を目的とし、「高知県立大学における障害を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領」を制定し、必要に応じた支援を行っている。 https://www.u-kochi.ac.jp/site/gakuseiseisatsu-syusyoku/list219.html
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 就職相談コーナーを池、永国寺キャンパスに開設し、就職指導・相談、求人票受付・掲示・管理、各種ガイダンスの企画・運営、就職資料の収集・提供・管理、就職関連図書の貸し出し等を行っている。 https://www.u-kochi.ac.jp/site/shushoku/
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 健康管理センターを池、永国寺キャンパスに開設し、けが・病気の手当や応急処置、健康に関することや学生生活における悩みなど、広範な相談への対応を行っている。 https://www.u-kochi.ac.jp/site/kenkou/

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：高知県立大学 HP に掲載 https://www.u-kochi.ac.jp/site/daigaku-annai/announcement-of-edu.html 備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F139210110511
学校名 (〇〇大学 等)	高知県立大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	高知県公立大学法人

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等 (内数) ※家計急変による者を除く。		235人 () 人	228人 () 人	243人 () 人
内訳	第Ⅰ区分	123人	120人	
	(うち多子世帯)	() 人	() 人	
	第Ⅱ区分	64人	61人	
	(うち多子世帯)	() 人	() 人	
	第Ⅲ区分	39人	36人	
	(うち多子世帯)	() 人	() 人	
	第Ⅳ区分 (理工農)	0人	0人	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	-	11人	
区分外 (多子世帯)	人	人		
家計急変による 支援対象者 (年間)				0人 () 人
合計 (年間)				243人 () 人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当)	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	-	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	-	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2 年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期 後半期
GPA等が下位4分の1	-	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期 後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が警告の基準に該当)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	12人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	12人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。